

8-1-10 広報事業専門委員会

1. 主な活動の記録

中期行動計画（2023～2026）で広報事業専門委員会が担務する施策3-2「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」に沿って、年度計画を立案し、各委員で分担して下記の事項を実施した。

(1) 広報事業専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（8、3月は休催）

(2) 学生懸賞論文の募集・表彰

学生懸賞論文の募集を2テーマ（①あなたが市長なら、どのような“まちづくり”をしたいですか？②安全・安心を実現するための防災・減災対策とは？）から選択する方式で実施した。

審査結果は会誌「Consultant」および協会ホームページに掲載した。

(3) 建コンフォート大賞の募集・表彰

一般対象のフォトコンテスト「第15回建コンフォート大賞」、小・中・高校生対象のフォトコンテスト「第11回建コンフォート大賞Jr.」を実施した。

審査の結果は、会誌「Consultant」および協会ホームページに掲載した。

(4) 建コンフォート大賞入賞作品の活用

7月27日から1週間、首都高大黒PA休憩施設内において3回目となる建コンフォート大賞入賞作品の展示会を開催した。

また、1月31日から1週間、富士フィルムフォトサロン東京において5回目となる建コンフォート大賞入賞作品の展示会を開催した。



展示会の様子（左：大黒PA、右：富士フィルム）

(5) 会誌モニタリングと結果のフィードバック

会誌発刊毎（年4回）に委員全員によるモニタリングを行い、その結果を基に委員会に会誌編集専門委員長を招聘して意見交換を行った。

【学生懸賞論文の審査結果】

応募結果 総数：20編

審査結果

優秀賞：1編

水口 詠斗 氏（和歌山工業高等専門学校）

特別賞：3編

菊池 壮太 氏（京都大学大学院）

佐藤 慎慈 氏、保坂 邦彦 氏、松田 蒼生 氏（関東学院大学大学院、関東学院大学）

三田 琳太郎 氏（北海道大学大学院）

【建コンフォート大賞の審査結果】

（一般の部）第15回建コンフォート大賞

テーマ「あなたのお気に入りの“土木施設”」

応募結果 総数334点

審査委員 協会長により委嘱された5名の審査委員および広報戦略委員長（委員長：宇於崎 勝也 氏（日本大学教授））

審査結果

最優秀賞：1点（忽那 博史 氏）

優秀賞：2点（門林 泰志郎 氏、徳島 義孝 氏）

特別賞：10点

グリーンインフラ特別賞：2点

（小・中・高生の部）第11回建コンフォート大賞Jr.

テーマ「“土木施設”を探せ！」

応募結果 総数：142点

審査委員 一般の部審査委員長および広報事業専門委員会委員（10名）

審査結果

Jr. 最優秀賞：1点（鎌田 隼羽 氏）

Jr. 優秀賞：2点（塩田 隆翔 氏、上田 悠真 氏）

Jr. 特別賞：10点

2. 次年度の活動について

中期行動計画（2023～2026）施策3-2「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」に沿って、学生懸賞論文および建コンフォート大賞募集・表彰、建コンフォート大賞入賞作品の活用による広報を中心に活動する。

（広報事業専門委員会委員長 早川 裕史）